

News Release

2026 年 7 月 23 日

一般社団法人 日本電機工業会（JEMA）

重電機器受注生産品 2026 年度 第 I 四半期（4～6月） 受注実績

JEMA では、わが国の重電産業の景況を、需要者（業種）別の受注動向を通して把握して頂くことを目的に、JEMA 会員独自で実施している重電機器自主統計を公表しています。

本ニュースリリースでは、「2026 年度 第 I 四半期（4～6月）」における重電機器受注生産品の受注実績を公表します。

2026 年度 第 I 四半期（4～6月）の概要

重電機器受注生産品の 2026 年度 第 I 四半期（4～6月）の受注額は、7,597 億円、前年同期比 122.2%と7四半期連続のプラスとなった。電力需要の拡大を背景とした旺盛な需要に支えられ、過去最高の受注額となった。（※以下、前年同期比は「同」と略記）

【需要者別動向】

- ◆内需は 6,205 億円、同 116.5%と7四半期連続のプラスとなった。
 - 製造業は1,216億円、同102.1%と4四半期連続のプラスとなった。主要需要先の鉄鋼業、自動車はマイナスとなったが、はん用・生産用・業務用機械がプラスとなった。
 - 非製造業は4,261億円、同119.1%と6四半期連続のプラスとなった。主要需要先の電力業、運輸業・郵便業・通信業がプラスとなった。
 - 官公需は 615 億円、同 123.6%と2四半期連続のプラスとなった。
- ◆外需は 1,392 億円、同 156.5%と前四半期のマイナスから転じてプラスとなった。

【製品別動向】

- 発電機：電力業がプラスとなり、5四半期連続のプラスとなった。
- 交流電動機：運輸業・郵便業・通信業、外需がプラスとなり、5四半期ぶりのプラスとなった。
- 電力変換装置：運輸業・郵便業・通信業、外需がプラスとなり、前四半期から転じてプラスとなった。
- 変圧器：電力業がマイナスとなり、前四半期のプラスから転じてマイナスとなった。
- 遮断器：電力業がマイナスとなり、2四半期連続のマイナスとなった。
- 配電装置：電力業、運輸業・郵便業・通信業がプラスとなり、5四半期連続のプラスとなった。
- 制御装置：電力業がマイナスとなり、6四半期ぶりのマイナスとなった。

重電機器受注生産品受注実績統計の凡例

■対象（重電機器受注生産品）

ユーザより注文を受け、個別の仕様で製造する製品群である受注生産品を調査対象としております。

- ・需要者（業種）は主に電力業や鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械、電気・情報通信機械、自動車などの主要製造業及び官公需等です。
- ・重電機器の主要製品は、回転機（発電機、交流電動機）、静止・開閉器（電力変換装置、変圧器、遮断器、配電装置、制御装置）等です。

■公表の内容

重電機器受注生産品全体の受注実績額、内需の需要者（業種）別、外需などを把握することで、国内外の受注動向および市場動向を把握することができます

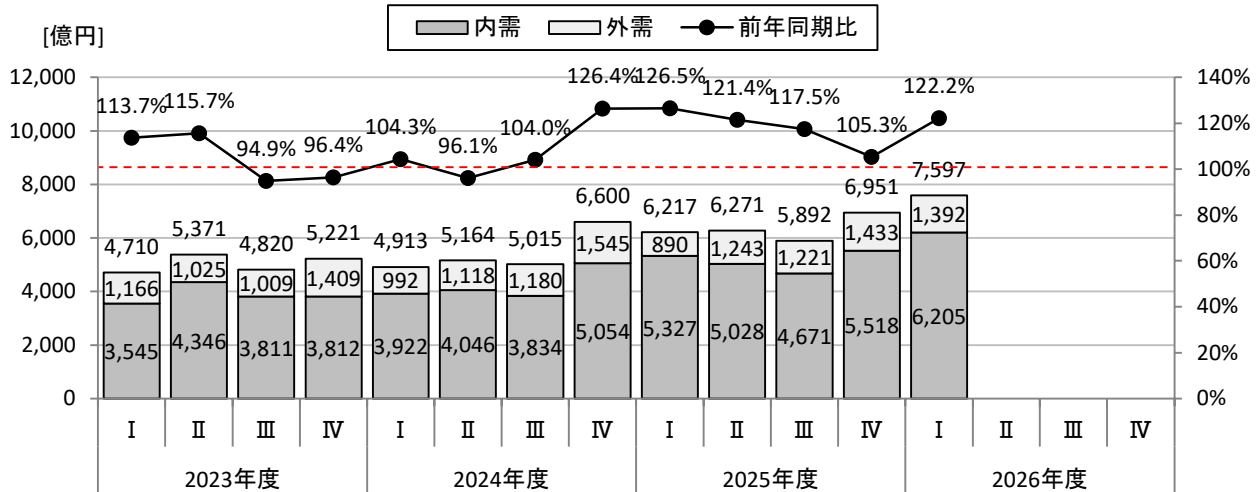
また、重電機器受注生産品の受注実績は、需要者（業種）別の設備投資の状況等を把握できますので、景気動向の先行指標として活用ができます

■公表の種類

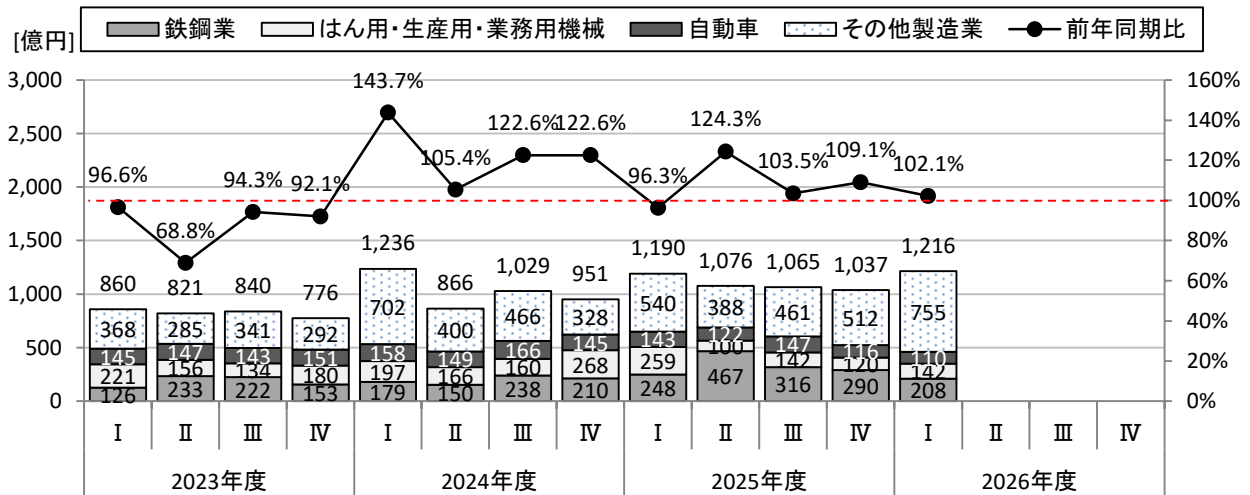
JEMA 会員独自で実施している自主統計を四半期毎に公表致します。

四半期実績の推移

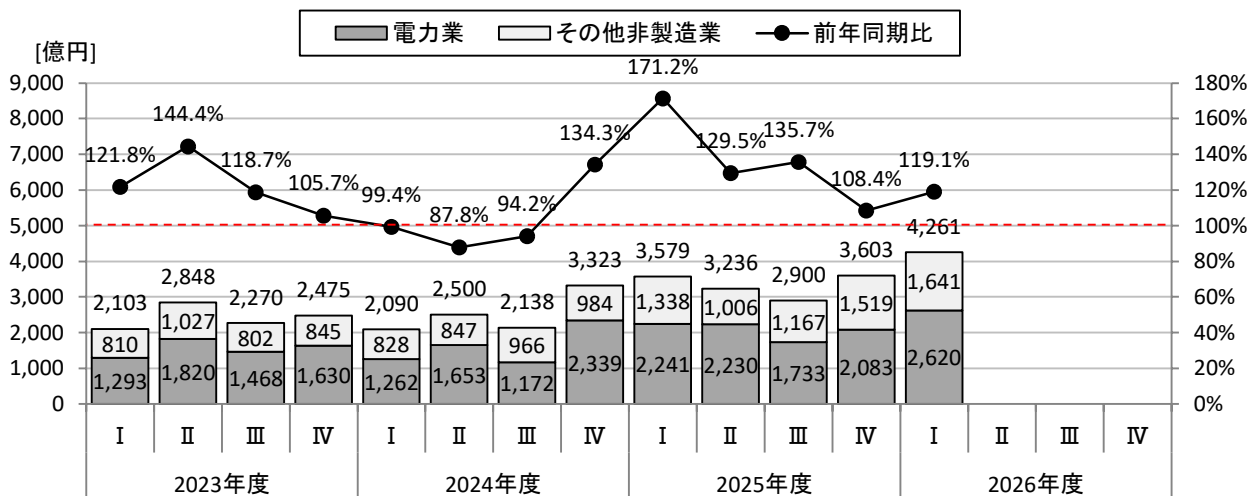
重電機器受注生産品の受注実績(内需+外需)



内需の内訳(製造業)



内需の内訳(非製造業)



本資料に関する弊社問い合わせ先

TEL:03-3556-5884

技術戦略推進部 重電・産業技術課